

編 號	T. 18	機 密	20	本
關 係			秘	

1384



左

軍務局



第一課長代  
局員



三月七日



大空機密第五五號

昭和九年三月十三日

副官

三月三日提出



8.17  
印務



八九式艦上攻撃機才一三八九號遭難概報

航空本部



技

技

第一課長

第二課長

第三課長



大村海軍航空隊



八九式艦上攻撃機オー三八九號遭難概報

一日時場所

昭和九年三月六日午後零時四十分  
宮崎縣細島灯台ノ四十四度一〇。涅

二機種並搭乗者官氏名

八九式艦上攻撃機(オー三八九號)

記	氏名	操縦	偵察	電信
事行方不明後殉職認定	一空植野三郎	豫備少尉梅林孝次	三空曹伊東大市	同上
助サレ	ノ六七潜水艦ニ救			

三狀況概要

遭難機八聯合艦隊第一回基本演習乙軍第二攻撃部隊二小隊(小隊長坂本中尉)ノ二番機トシテ敵航空母艦龍驤爆撃ニ参加ノ為鹿兒島縣鹿屋基地離

陸

時刻	記 事
二二〇	鹿屋上空火殺
一一四三	都井岬通過敵線真方位二十八度二向針 風向三二五度風力十二節實速八十五節雲 高一五。米雲量二。視界三十哩 海上平穩
一一二〇	網島ヲ左九。度十二哩ニ見テ通過風向三。 度風力七節 實速九十節
一一三五	鶴見崎ノ九。度二十哩ヲ敵前衛部隊 ニ戦隊火殺息。一番機上昇開始高度三〇。米
一一三二	以下生存者ノ言ニ依ルニ一番機ニ做ハントセシ平操 縦者ハ回轉上ラズ續クテ高度下止首報ス

依テ直ニ富高ニ向ケト令シ磁針路ニ六七度ヲ  
知ラス

左旋回ヲ富高ニ向針僚機未ダ來ラス直ニ  
我不時着スルヤモ知レズト打電ス續クイテS  
O、S、及地點ヲ打電セシメントセシモ及バス

高度約五〇米ヲ浮泛装置ヲ開ク首前席ニ  
告ゲタルニ「待テト」ノ應答アリ高度約二〇米  
ニテ再び浮泛装置ヲ開クト前席ニ告ゲ「ト」カ  
赤ヲ引キタルモ伸ビス（出發前作動堅キ首聞  
キ居タルヲ以テカヲ入ヒテ引ク）

再度足ニカヲ入ヒテ引キタルニ「ト」グルハ「  
ワイヤ」ヨリ  
離脱セリ尚引カントシテ「ワイヤ」ノ一端ヲ「ト  
グル」ニ捲附タルドモ短クシテ用ヲナサザリシタメ

一 二 四 〇	<p>車輪水ニ觸ルト思フヤ衝撃ヲ受ケ身          逆立トナリ操縦席ハ海中ニ没入シ偵察席ハ          半ハ浸水セリ</p> <p>偵察者ハ着水ト同時ニ左手ニ衝撃ヲ受ケ身          体ハ機ノ右側ニ投出サレ居リタルモ落下傘          下部連接索ノフックヲ傘体ヨリ離脱シ得ズ</p>	<p>遂ニ断念シ操縦者ニ其ノ旨ヲ告グ          フロペラレノ回轉ハ次第ニ減少ス操縦者ハ一寸          待テレノ語以後何等ノ應答ナシ操縦ニ専念          セルタメナラン。</p> <p>操縦者ノ態度ハ沉着冷靜ニシテ其ノ着          水振リハ平時ト異ナラズ向風ニテ着水ス          着水前ニハ後席ノ電信員ノ聲ヨク聞エタリ</p>
------------------	---	--

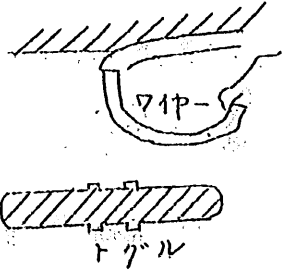
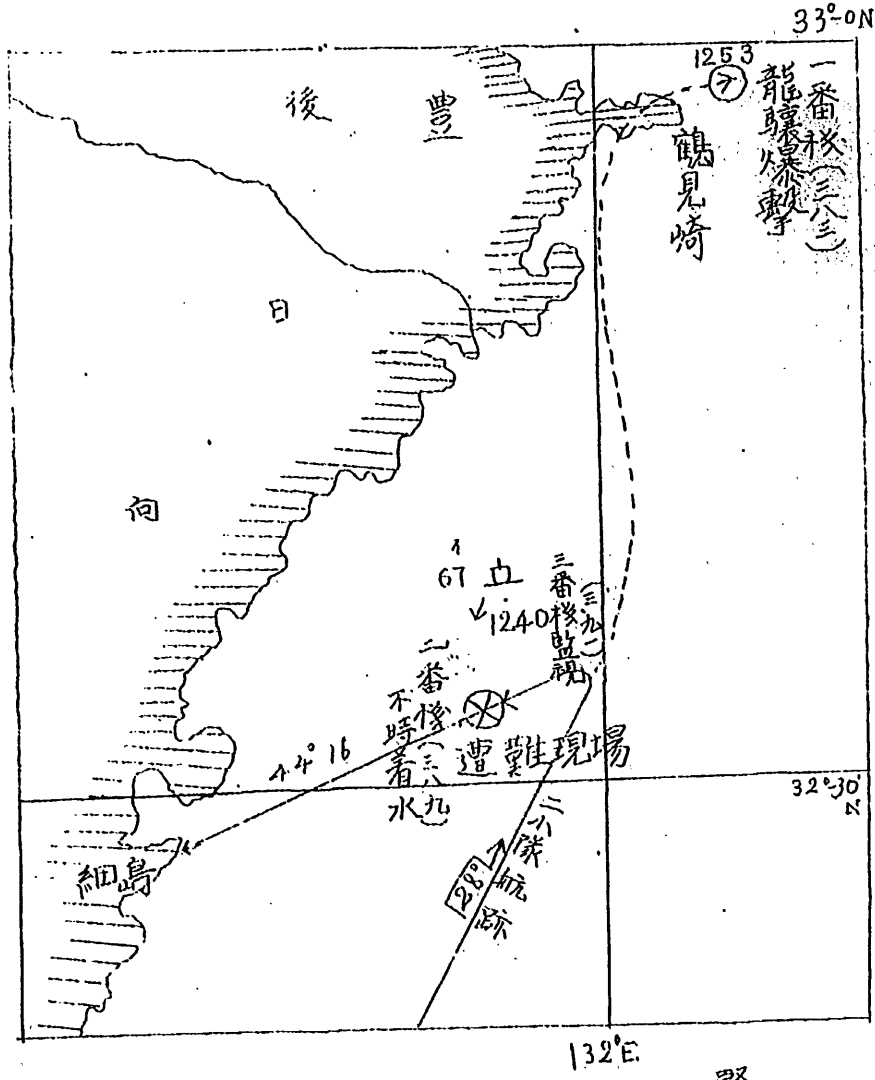
<p>因ッテ裝脱裝置ヲ外シ機体全没前辛ウシテ          偵察席ヨリ離脱スルヲ得タリ電信員ハ落          下傘ヲ外シ居タルタメ着水ノ瞬時海面ニ投          出カレタリ</p>	<p>一三四一機ハ尾羽異ノミヲ残シ居リシモ直ニ全没シ再々機影          ヲ見ズ          偵察者ハ聲ヲ上げテ電信員ニ操縦者ノ存否          ヲ聞クモ空シ          萬全ヲ期シテ操縦ニ專念セル操縦者ハ行          方不明トナル          斬白ラクシテ「キヤンバスタック」ノ浮ブヲ認メ救命浮          標ナルヲ知り電信員ト協力シテ空氣ヲ送          リ數分ニシテ之ヲ膨脹セシメテ身ヲ托ス</p>
--	---

	<p>海上平穩ナリ          新日時ニシテ監視機オ一三九一號ノ能翔スルヲ認め          更ニ北方約五哩ヨリ潜水艦(伊六七)ノ來ルヲ認め          機体沈没後約十五分經過セルモノト思惟ス          時計ハ一ニ回三ニテ停止シ居タリ</p>
<p>一三一〇</p>	<p>ライフジャケットノ浮揚力弱リタレバニ名共救命          ブイ上ニ乗リ潜水艦ノ來ルヲ待ツ</p>
<p>一三二〇</p>	<p>伊六七潜水艦ニ救助サル          偵察者ハ左腕ヲ電信員ハ顔面ヲ打撲          セル外異状ナシ          操縦者ハ機体沈没急激ナリシタメ機体ヨリ離          脱ノ時機ヲ得ズ遂ニ乗機ト共ニ沈没セルカ          如シ</p>

(終)

1991

遭難現場畧圖



緊急浮泛装置  
トケル  
離脱時、図



1392

編綴 関係	T. 18	協 定 日 付	20	米 永
		及 行 日		
			秘	



九五

一三〇〇  
一四四〇

無線

大湊發  
着

(四七)

五

大湊航空隊司令

大 臣、横領、聯合艦隊長官、横人事部長

航本部長、一航戰司令官、横、吳、佐、佐伯

大村、霞ヶ浦、館山各航空隊司令、赤城、加賀

鳳翔、龍驤各艦長、能登呂、神威特務艦長

機密第一二番電

本日午前十時五分報國第五十七號（北海道號）中村（ホ七二五）航空兵曹長操縦、西橋一等航空兵曹（志空八十六）同乘高度約千米ニテ左錐揉練習中約二旋轉後水平錐揉トナリ當隊南方千五百米ノ海上ニ墜落操縦者危篤絶望、同乗者ハ落下傘ニテ無事」

北海道號ハ五月五日命名式舉行ノ豫定ナルヲ以テ墜落機ハオミ百三十二號ト發表セリ。

一一一三〇〇

8697

機密	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
機密	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
機密	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
機密	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ

秘

野島特務艦長

九五八  
〇九一五  
一〇一八

無線  
野島發着

(五九七) 5

野島特務艦長

大 臣、佐領參謀長、  
與領長官、

機密第二番電

至急

八日午前四時十分大王埼ノ百十五度五、八湮ニ於テ玉津丸(神戸島谷汽船株式會社備船)下觸衝本艦右舷九十七番ビームヨリ百七番ビーム(第一船艙)間水線上四米ニ約六、五米ノ破孔水線下三米ニ外板合目ニ隙ヲ生シ少量ノ浸水アリ、午前六時五十分發動原速力ニテ瀬戸内海經由吳ニ向ケ回航、便乘者二名負傷、内一名(三等水兵有吉能夫佐志水一五一四二)重傷、玉津丸ハ船首僅ニ四ミタノ程度ナリ、海上平穩薄霧アリ、風向南五米。

八一〇七三〇